

広報

2024  
令和6年



# 奥出雲

# 1

No.226

ありがとう 三成小学校

### 今月号の主な内容

- 年頭のご挨拶..... 2
- 人権を考える町民のつどいを開催]..... 4
- 岩田農園から横田高校3年生へ祈願米を贈呈 ..... 6
- 町立奥出雲病院コーナー..... 8
- スマホ用電子証明書によるコンビニ交付サービスについて ... 10

わたしたちの町 人口 11,339人 / 男 5,452人 / 女 5,887人 / 世帯 4,645世帯 (1月1日現在)

# 年頭のご挨拶



奥出雲町長 糸原 保



2024年の年頭にあたり新年のご挨拶を申し上げます。まず初めに、1日に発生しました能登半島地震におきまして、お亡くなりになりました皆様には、お悔やみ申し上げますとともに、被災されました多くの皆様にお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を願っております。

本地域におきましても、何時こうした災害が起こるのか解りません。常に有事即応体制、訓練などの強化に努めていく必要があると、改めて引き締めるところであります。

さて、昨年は、私が訴える政策や、国の新たな政策である脱炭素・デジタル社会の実現に向けた計画とするため、第2次奥出雲町総合計画・総合戦略の改訂を行いました。具体的には、保育料の無料化や18歳までの医療費の無償化、子育て応援金創設やイクボス宣言、脱炭素宣言やこれに伴う事業の拡充、子どもたちのやりたいを応援するまちづくりチャレンジ事業、奥出雲を担う皆様の意見を反映する奥出雲未来会議、三成公園ホッケー場へのAIカメラの導入、三成や横田地区を中心としたコンパクト・ネットワークのまちづくりを行うための立地適正化計画の策定着手などに取り組みなど、まさに、奥出雲創生のスタートの年になりました。

本年は、改訂後の総合計画に基づき、総力戦のまちづくりをより一層進めてまいりますと考えております。

- ① 子育て・教育の充実と奥出雲を担う人づくり
- ② 活力のある産業の振興
- ③ 安心して暮らせる生活基盤の確保とまちづくり
- ④ 奥出雲の暮らしが幸せだと実感できるまちづくり

について、皆様とともに着実に進めていく年になると思います。

日本の人口減少・少子高齢化のスピードは益々激しく、特に本町のような中山間地域は施策を

打っても、非常に厳しい状況が続いており、歯止めがかからない状況です。町政の運営につきましても、厳しいご意見も頂いており、役場の対応もまだまだ皆様のご期待に届いていない状況です。

しかし、町民の皆様の様々な活動や笑顔を見ることが、輝かしい奥出雲町の未来を確信し、私自身も勇気と希望を感じ、奮い立っているところです。

私は、地方創生・奥出雲創生とは、地域社会を変えていくことだと思っています。町民の皆様、町を応援いただく皆様と一緒に奥出雲の伝統文化、地域資源などを最大限尊重し、守りつつも、新しい考え方も取り入れて、これからの世代が住みよい社会に変えていくことが必要です。子育て応援、イクボス、環境政策、SDGs、デジタル化など新たな取り組みを取り入れて、新たな社会を創っていく、まさに総力戦のまちづくりです。少ない財源に魂を込めて、使命感と情熱をもって町政運営に邁進してまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 選挙管理委員会

委員に

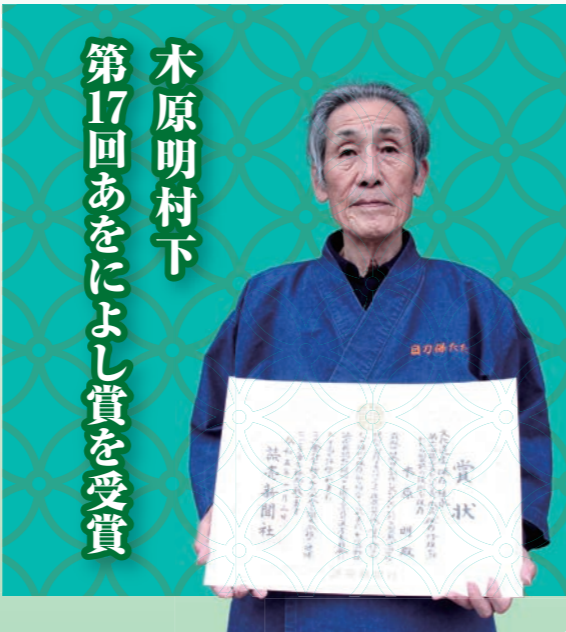
若槻進さん

が就任

選挙管理委員会委員に欠員が生じたため、12月10日付けで若槻進さん（布勢）が新たに就任されました。

選挙管理委員会は、公正な選挙を行うため、奥出雲町長から独立した機関です。

任期は、令和7年6月22日までです。よろしく申し上げます。



## 木原明村下 第17回あをによし賞を受賞

読売新聞社が主催する文化財の保存や伝統文化継承の現場に光をあて、その最前線で活躍する個人・団体を顕彰する「第17回あをによし賞保存・修復部門」を、国選定保存技術保持者である村下の木原明さんが受賞されました。

木原さんが、日本刀にかかせないたたら製鉄の高度な技術を習得するだけでなく、後進の育成にも努め、技術の保存に取り組んでこられた事が評価されました。

木原さんは、「この度は、名誉ある賞を賜り光栄に存じます。これも偏に昭和29年に日立製作所安来工場へ入社し、砂鉄と木炭を原料とする製鉄に精進したお陰です。今後後継者育成と日本刀の原料「玉鋼」の品質向上と安定供給に専念いたします。」と話されました。

## 祝

### 第3位 第32回浜田ー益田間 駅伝競走大会 (しおかぜ駅伝)

しおかぜ駅伝が12月10日に、4年ぶりに開催され、県内の各地域から33チームが出場しました。この駅伝は、全8区間、39・6キロからなり、中学生から一般の男女8人のランナーがタスキを繋ぎました。レースは、1区で先頭となり、2位以下を大きく引き離しましたが、2区以降、他チームが力走し、追い上げてきました。第6中継所で奥出雲は、浜田、益田、平田に続く4位でタスキを受け取り、粘り強い走りにより順位を1つ上げ、3位でゴールテープを切りました。トップでゴールをした浜田とは、4分8秒差である2時間8分25秒という結果でした。

監督を務めた藤原幹男さんは、「チームの目標である『優勝』に届かなかったけれど、各區間が力を出し切ったレースでした。チームの課題を練習で克服し、来年も優勝を目標にチーム一丸となって頑張りましょう。」と話されました。

また、第1区に加藤小雪さんは、2・4キロを7分29秒という記録で走り、見事、区間賞を受賞されました。



## 太陽建設コンサルタント 株式会社様から 企業版ふるさと納税

太陽建設コンサルタント株式会社様から町に対し、企業版ふるさと納税による100万円の寄附をいただきました。

同社は、松江市を拠点に社会基盤であるインフラを整備する企業として、計画・調査・設計・施工管理などの技術コンサルティングを行っておられ、高い技術力で県内各所において、道路、橋梁、河川などの社会資本を整備し、地域の発展と人々の暮らしを守る仕事をされています。

この度いただきました寄附は、「都市とのつながりを築き、奥出雲町へ新しいひとの流れをつくる事業」において、学校のICT機器整備等に活用させていただきます。



太陽建設コンサルタント (株)の古藤茂利専務取締役

企業版ふるさと納税は、町外の企業が寄附を通じて町が行う地方創生の取り組みを応援いただいた場合に、税制上の優遇が受けられる制度です。町はこの制度を活用して企業からの寄附を募り、「奥出雲町まち・ひと・しごと創生推進計画」に掲げる取り組みを推進していきます。

# 人権を考える町民のつどいを開催!

毎年12月4日から12月10日の1週間は人権週間と定められており、奥出雲町人権教育推進協議会では人権を考える町民のつどいを12月10日にカルチャープラザ仁多で開催しました。

当日は、7月から9月にかけて募集した人権標語及び人権イラストの優秀作品表彰式と人権意識の高揚を図るための講演会を実施。今年も標語部門に938点、イラスト部門に33点の応募があり、最優秀作品は次のとおりでした。審査員を代表して川本教育長が「作品づくりを通して人権を尊重し合うことの大切さについて考えるきっかけになった。」と講評しました。

講演会では、みえ人権教育・啓発研究会代表の松村智広さんの体験談を通して、日常にある人権・同和問題への認識を深め、お互いに思いやりを持つことの大切さを再確認しました。

**【標語の部】**  
飯塚咲采さん (仁多中2年)  
「スマホより 優しく充電 しませんか」

**【イラストの部】**  
山田友彩さん (仁多中2年)



松村智広さんの講演会の様子



山田友彩さんの作品



### 仁多・横田ライオンズクラブ 横田高校寮生に「奥出雲和牛肉」を贈呈

仁多・横田の両ライオンズクラブから、横田高校の寮生に対し、12月18日に最高等級の奥出雲和牛36人前が贈呈されました。寮生を応援して行きたいという思いで令和3年から実施され、今年で3回目を迎えます。

贈呈式には、仁多ライオンズクラブから勝山学也会長、横田ライオンズクラブから松崎忠司会長などが参加し、横田高校寮生を代表して参加した木村真琉さん、石丸祥大さん、上野夕貴さんに和牛肉が手渡されました。

寮生は、「1年生の時から食べていて、美味しいことを知っています。今夜の夕食が楽しみ。」や「美味しい肉を食べる機会をいただき嬉しい。」と話されました。

また、両ライオンズクラブを代表して勝山会長から、「奥出雲和牛を食べた事で、将来、奥出雲町を離れても、奥出雲町を思い出すきっかけとなってほしい。」と話されました。贈呈された奥出雲和牛は、その日の夕食にすき焼きとして、寮生に提供されました。



## ありがとう 三成小学校

# 校内に絵を描こう イベント開催

学校統合のため取り壊される三成小学校で、11月25日に校舎の壁に思い出の絵を描く親子活動が開催され、約200名が参加しました。児童は、「三成「思い出」のテーマのもと、思い出しのイラストやメッセージを校舎全体に描きました。

このイベントを企画した同小学校PTA会長の岡田悠佑さんは「消えゆく校舎に感謝の気持ちを込めて、思い出の校舎の壁に絵を描くPTA親子活動を企画開催し、保護者と子ども、教職員との繋がりがより深まりました。」と話されました。



### 主な教室諸室の配置

**(1階)**  
職員室、校長室、保健室、1・2年教室、特別支援教室2室、通級指導教室、多目的ホール

**(2階)**  
3～6年教室、特別支援教室2室、音楽室、図書室、理科室、家庭科室、図工室



### 三成小学校 仮設校舎が完成

仁多地域統合小学校(仮称)の整備に向けて、令和5年8月から建設していた三成小学校仮設校舎が12月22日に完成しました。この仮設校舎は、軽量鉄骨ブレース造の2階建てで、すべての教室に空調設備を完備し、トイレはすべて洋式トイレとなっています。

### 外国語指導助手のローレンさん・カレンさんとクリスマス会をしました!

奥出雲町国際交流協会が主催するクリスマス会が12月9日に、カルチャープラザ仁多で開催され、親子連れ33名が参加しました。このイベントは、町内の学校で外国語指導助手として活動されているローレンさんとカレンさんとの交流を通して、子どもたちの異文化理解を深めることを目的としています。



ローレンさんとカレンさんからアメリカやメキシコでのクリスマスの過ごし方や食べ物について学んだ後、英語のクリスマスソングに挑戦しました。参加した子どもたちは慣れない発音に苦戦しながらも、楽しく歌いました。そして、紙皿や色画用紙、リボン等を使い、クリスマスリースを親子で試行錯誤しながら製作し、参加した子どもたちは、「作ったクリスマスリースをローレンさんとカレンさんに褒めてもらって嬉しかったです。」と笑顔で話しました。

出雲599 あ 20-46

【お問い合わせ】  
政策企画課  
有線：31-5293  
電話：54-2514

### 図柄入り「出雲」ナンバープレートのデザインをご利用いただけます!

図柄入り「出雲」ナンバープレートは、出雲市・奥出雲町・飯南町の1市2町で導入し、令和2年5月から交付を開始しています。

このたびは、デザイン使用規程を改め、図柄入り「出雲」ナンバープレートのデザインを各種印刷物等に使用できるようになりました。(個人が、営利を目的とせず私的に使用する場合は申請は不要です。)

申請方法など詳しくは、左記QRコードから出雲市の専用ページをご覧ください。

## 農事組合法人おくゆだに創立10周年記念 奥湯谷宮農組合創立35周年記念



阿井地区の奥湯谷上・奥湯谷下自治会で構成する農事組合法人おくゆだにが創立10周年、そして、奥湯谷宮農組合が創立35周年を迎え、39名の内27名の構成員のほか、糸原原議会議員や糸原町長などを来賓として招き、12月3日に玉峰山荘で式典が行われました。

同団体は、仁多米コシヒカリやもち米、酒米を生産しており、厳しい農業情勢の中で将来を見据え、共同作業所の整備、農業機械の共同利用や作業受託、共同防除作業など、集落一丸となって共同化に取り組み、生産コストの低減等に努められています。

糸原町長は、「今後も連綿と受け継がれた奥湯谷集落の農業や美しい農村風景を将来にわたり守り続けてください。」と祝辞を述べました。

# 2024(令和6)年秋以降は、 保険証とマイナンバーカードが一体化されます。

## マイナンバーカードをなくしたり、 手元にない場合は？

- 2024(令和6)年秋以降、ご本人の被保険者資格の情報などを記載した「資格確認書」が無償交付されます。
- 「資格確認書」を医療機関等の窓口で提示することで、引き続き、一定の窓口負担で医療を受けることができます。

## 健康保険証はいつまで使えますか？

- 2024(令和6)年秋以降、新規の健康保険証は発行せず、2024(令和6)年秋の時点でお手元にある有効な保険証は、その時点から最長1年間(※)使用することができます。

※有効期限が2025(令和7)年秋より前に切れる場合はその有効期限まで。



マイナンバーカードは  
こちらのポスターやステッカーを  
貼っている医療機関・薬局で  
ご利用可能です！



※厚生労働省 HP でもご利用可能な  
医療機関・薬局を公開しております。

厚生労働省  
ホームページ

# マイナンバーカードを健康保険証として利用するための 登録がまだの方は、以下2つの準備をお願いします。

## STEP1. マイナンバーカードを申請

### ■申請方法は選択可能です

- ① オンライン申請  
(パソコン・スマートフォンから)
- ② 郵便による申請
- ③ まちなかの  
証明写真機からの申請



## STEP2. マイナンバーカードを 健康保険証として登録

### ■利用登録の方法

- ① 「マイナポータル」から行う
- ② セブン銀行ATMから行う
- ③ 医療機関・薬局の受付で行う



もっと詳しく知りたい方はフリーダイヤルにお問い合わせください  
マイナンバー総合フリーダイヤル TEL: 0120-95-0178

役場の窓口ではマイナ保険証の登録のお手伝いも行っておりますのでお問い合わせください。

お問い合わせ 健康福祉課 電話 54-2511  
有線 31-5124

## 書籍 『砂の器』と木次線』が 出版されました

奥出雲町出身で元NHKのディレクターである村田英治さんが『砂の器』と木次線』と題した著書を12月15日に出版されました。

この本は、当時、小学生であった村田さんが日本映画『砂の器』(1974年)のロケに遭遇してから約50年の月日が経ち、駅のホームで別れる父子の姿を描いたシーンはどのようにして生まれたのか、当時の木次線沿線はどのような様子だったか等について興味を芽生え、多くの資料やエキストラとして出演された方々の証言をもとに執筆されました。

村田さんは、「当時ロケに関わられた方々をはじめ、地元の方々の皆さんにご協力をいただきました。歴史や風土が育んだこの地域の魅力を改めて感じていただければ嬉しいです。」と話されました。

この本は、大同書籍合資会社、絲原記念館、玉峰山荘、マガジンラック(仁多シヨッピンセンター)で販売されています。



## 受験シーズン到来 願いを米で岩田農園から 横田高校3年生へ 祈願米を贈呈

岩田農園株式会社では、地域の子どもたちを応援したいという気持ちを含め、12月20日、横田高校において、春から新たな進路へ向かう3年生64名を対象に、祈願米が贈られました。

奥出雲町の良さは、地域の支援が熱い事です。地域の皆さんのサポートのおかげで3年生は頑張れます。



会社として、地域の子もたちを応援したいと思い、横田高校3年生に米を贈ることにしました。社会に出て、色々な事があると思いますが、頑張ってください。

岩田農園株式会社 岩田孝史代表取締役  
横田高校前生徒会長 小川亮馬さん  
前生徒会副会長 藤原悠斗さん  
前生徒会副会長 福田紗貴乃さん  
横田高校 深田新校長先生

## 放課後 令和6年度 児童クラブ

## 加入申込みのお知らせ

申込受付期間…  
令和6年1月15日(月)～  
令和6年2月9日(金)

小学校下校後、保護者が就労等により家庭にいない児童に遊びや生活の場を提供します。



【加入対象児童】  
小学1年生から6年生

【申込書配布場所および提出先】  
各児童クラブまたは  
子ども家庭支援課(仁多庁舎)

※現在加入中のお子さんについては、各児童クラブから申込書をお渡します。  
◎詳しくは町ホームページをご覧ください。申込書は町ホームページからもダウンロードできます。



【お問い合わせ】  
子ども家庭支援課  
有線…31-5164  
電話…54-2504

## 病児保育施設

## “ほっとすてい”

令和6年度  
登録申込みの  
お知らせ



お子さんが病気にかかっていたり、回復期にあって安静にする必要があることなどから幼稚園や小学校に通うことができず、保護者が仕事等のため家庭で保育ができない場合に利用できます。病児保育施設を利用するには、毎年度登録申込みが必要です。  
※利用時間・料金等は町のHPを確認していただくか、子ども家庭支援課へお問い合わせ下さい。

登録対象年齢…生後1年～  
小学校6年生まで  
申込受付期間…1月15日(月)～  
随時受付  
申請書等設置場所…ほっとすてい、各幼稚園、  
仁多庁舎(子ども家庭支援課  
横田庁舎 税務課  
各幼稚園 各小学校、  
子ども家庭支援課、  
税務課

【お問い合わせ】  
子ども家庭支援課  
有線…31-5163  
電話…54-2504



# そうだったのか！ がん専門医による抗がん剤のお話

第4回

## 【抗がん剤の副作用】

今回が連載4回目、昔ながらの抗がん剤のお話をします。

繰り返しになります吐き気・おう吐や抜け毛、感染症の合併、強いけん怠感など、『従来の抗がん剤』は本来強い副作用を伴います。『分子標的薬』や『免疫チェックポイント阻害薬』など副作用の軽い新しい抗がん剤が増えていますが、依然、従来の抗がん剤は非常に重要なお薬です。じゃあ、やっぱり強い副作用は避けられない、と思われるかもしれませんが、副作用対策も近年随分と進んできているのです。特に吐き気に対しては良い薬がどんどん出てきています。用いる抗がん剤によって吐き気のリスクは異なりますが、強い吐き気を催しやすい抗がん剤を使用するときは、あらかじめ超強力な吐き気止めを使うことで、患者さんに吐き気が出ないようにすることが可能となっています。30年前にはこの吐き気止めの種類が絶望的に少なかったのです。こういった副作用に対する策のことを『支持療法』と呼んでいます。『支持療法』の進歩が抗がん剤治療を支えているわけですね。

しかし吐き気や感染症などに対しては有効な副作用対策が出てきていますが、いまだに抜け毛だけはどうにもなりません。これに関しては30年前と比べて変化がない部分です。しかしその分、医療用ウィッグ（わかりやすく言うとカツラ）の進歩があり、髪色や髪質、髪形などによって無数の種類があります。若い女性であっても自分に合った自然で違和感のないウィッグを利用できるようになりました。逆にウィッグを使っておしゃれを楽しむ方までおられます。また、髪の毛は治療が終われば、数か月後に必ずまた生えてきます。

このように吐き気や抜け毛を代表にお話をしましたが、多くの部分でこの『支持療法』の発達が見られ、かつてのような副作用で苦しむことが（全くないとは言いませんが）少なくなってきているのです。

次回は新しい薬剤、『分子標的薬』のお話をします。



※医療的ケアとは、糖尿病のインスリン治療、酸素吸入、喀痰吸引、褥瘡処置、経管栄養などのことをいいます。

**Q** 「介護医療院」はどんなところですか？

**A** 介護と医療的ケアが必要な方のための長期入所施設です。奥出雲病院介護医療院では、医師や看護師、介護福祉士などの医療・介護従事者の支援のもと、人生の最期まで安心して生活することが出来ます。明るく家庭的な雰囲気大切にしており、季節ごとの行事や誕生日なども行っています。



【お問合わせ】  
町立奥出雲病院（地域医療課）  
（電話）54-1124

**Q** どのような方が利用できますか？

**A** 日常的な医学管理が必要な要介護者の方で、介護保険の「要介護1〜5」の認定を受けられた方が利用できます。

また病状に応じ、看取りや緩和ケアを必要とされる方も対象となります。

**Q** 利用したい時はどうすれば良いですか？

**A** 担当ケアマネージャーまたは奥出雲病院（地域医療課）までご相談ください。



## レクリエーション活動 「収穫祭」

入所されている皆さんに、柿やかぼちゃ、イチゴウヤモミジなどの紅葉を実際に手に取り触れてもらいました。「家でもなっちゃうよ〜」と、自宅での様子を思い出されたり、手作りの芋掘り体験をしていただいたり、笑顔が見られたひとときでした。

## 虹の郷シアター

ご家族から提供頂いた写真や手紙などを、想いを込めたメッセージとともに映像化し、入所されている皆さんに視聴していただきました。

若き頃の様子や家族とのかけがえのない思い出を懐かしみ、感極まったご様子の方もいらっしゃいました。

## 誕生日のお祝い

入所者の誕生日にお祝いをいたしました。歌を歌って手作りのメッセージカードを渡しました。

誕生日は誰にとっても特別な日。普段は口数が少ない方もうれしそうなお表情を見せてくださいました。



# 「健やか親子21内閣府特命担当大臣表彰」受賞

令和5年度「健やか親子21内閣府特命担当大臣表彰」があり、当院の藤井智穂助産師が功労者表彰を受賞されました。

これはこども家庭庁が、「成育過程にある者の心身の健やかな成育並びに妊産婦の健康の保持及び増進に寄与する取組」に長年携わり尽力された方に対しその功績をたたえるものです。



横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」

# 1年生の学びについて

## ～地域学習・進路ガイダンス～

10月31日に町内の各事業所を訪問させていただき、学びや気づきを新聞紙面にまとめました。この学習では「総合探究×現代の国語」の教科横断型の授業展開の形をとりました。事前に「現代の国語」の授業で、5W1Hを意識した新聞の読み方、記事の書き方を学習し、見字で得た情報を「伝わる」記事へとしてみました。地域の魅力を再発見するとともに、メモの取り方や要約の仕方など多くのことを意識した学習をすることができました。

また、12月13日には進路ガイダンスを行いました。中国エリアの大学や専門学校等、様々な分野についてのお話を聞くことができました。本校では2年次からコース別に分かれて、自分自身に合った進路実現のための準備をしていきます。今回のガイダンスが将来に繋がる一助となっていれば幸いです。



# 奥出雲町認知症高齢者等見守り支援事業

～認知症高齢者見守り用のGPS端末機を貸し出しします～

本町では、認知症等により道に迷い行方不明となった高齢者等を早期に発見し事故防止につなげ、高齢者等の安全の確保とその家族等への支援を図ることを目的に、GPS機能を利用して位置情報を検索することが出来る専用端末の貸出サービスを12月から開始しています。

**【利用対象者】**  
認知症により道に迷うことがある方を在宅で介護している親族

(奥出雲町高齢者等見守りSOSネットワーク事業の事前登録をされていることが条件となります)

**【サービス内容】**

- ①専用端末を貸与します。
- ②端末を対象の方に携帯してもらってください。
- ③家族等がパソコンやスマートフォンなどで専用サイトにアクセスして、位置情報を探索することができます。

**【利用者が負担する費用】**  
無料

**【申込・お問い合わせ】**

奥出雲町地域包括支援センター  
(健康福祉課内)  
有線：311-5283  
電話：541-2512



# スマホ用電子証明書による コンビニ交付サービスについて

令和5年12月20日から、マイナンバーカードに加えて、スマートフォンでもコンビニで住民票の写し等を取ることができるようになりました。ご利用には、スマートフォンにマイナンバーカードの電子証明書(署名用及び利用者証明用電子証明書)を搭載する手続きが必要です。なお、本サービスの詳細や対応しているスマートフォン機種等は、町のホームページまたは町民課へご確認ください。

**【お問い合わせ】**

町民課 戸籍係  
有線：311-5103  
電話：541-2510



**環境にもお財布にもやさしい生活にチャレンジ!!**

**テレビを購入する時は**

最近の液晶テレビは高性能になり、29%も電気代が節約できます。(※1)

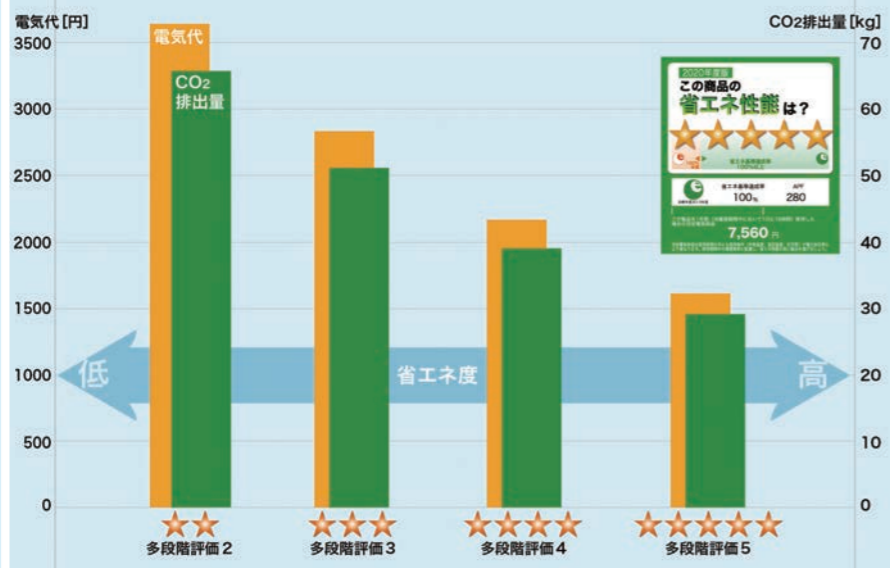
部屋の大きさによって画面サイズを選択すると思います。省エネレベルの星の数と画面サイズが電気代に影響します。購入時はグラフを参考にしてください。



# 液晶テレビの星の数は 電気代・CO2排出量にどう影響するの?

液晶テレビの多段階評価に応じた年間電気代・CO2排出量の比較

出典：経済産業省資源エネルギー庁「省エネ型製品情報サイト」に2018年～2020年に登録された液晶テレビのデータを加工して作成。  
CO2排出係数は0.488kgCO2/kWh【電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)～平成30年度実績～R2.1.7環境省・経済産業省公表】を使用。液晶テレビの画面サイズは43インチ。※https://seihinjyoho.go.jp/



※1 2010年32V型液晶テレビと2016年32V型液晶テレビの比較  
出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (http://www.jccca.org/)

# 有害鳥獣の 捕獲・ 駆除実績



町では、有害鳥獣捕獲班の皆さんに有害鳥獣を捕獲・駆除していただいています。令和5年11月の捕獲・駆除頭数実績は次のとおりです。

地域	ニホンジカ	イノシシ	タヌキ	カラス	サギ類	その他
仁多地域	8	77	25	206	1	7
横田地域	4	67	27	0	0	2
合計	12	144	52	206	1	9

※その他は、アナグマ、ヌートリア等の合計です。有害鳥獣による農作物被害があった場合は、左記までご連絡ください。

**【お問い合わせ】**  
農業振興課 農業生産2係  
有線：201-4336  
電話：521-2679

自衛官等募集案内

【第1回】予備自衛官補(一般・技能)(男女)募集

◆受付期間 令和6年1月22日(月)～4月11日(木)

◆応募資格

(一般)日本国籍を有し、18歳以上34歳未満の者(令和6年7月1日現在)

(技能)日本国籍を有し、18歳以上で、保有する技能に応じ、53歳から55歳未満の者(令和6年7月1日現在)その他にも経験年数等の資格要件があります。

◆試験期日

(筆記試験・適性検査)(ウェブ試験方式)令和6年4月6日(土)～11日(木)のうち1日  
(口述試験・身体検査)4月13日(土)・14日(日)のうち1日

◆試験会場

(一般)(筆記試験・適性検査)受付時にお知らせします。  
(口述試験・身体検査)陸上自衛隊出雲駐屯地  
(技能)全国の主要都市で実施します。

◆試験種目

(一般)筆記試験(国語、数学、地理歴史及び公民、作文)、口述試験(適性検査、身体検査)  
(技能)筆記試験(小論文)、口述試験(適性検査、身体検査)

【第1回】一般幹部候補生(男女)募集

◆応募期間 令和6年3月1日(金)～4月12日(金)

◆応募資格 日本国籍を有し、令和7年4月1日現在、22歳以上26歳未満の者(20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含む)、修士課程修了者等(見込含む)は28歳未満の者)

◆試験期日

(1次)令和6年4月20日(土)・21日(日)

※21日(日)は、飛行要員希望者のみ

◆試験会場

(1次)松江地方合同庁舎及び浜田城山ビル

◆試験種目

(1次)筆記試験

【第1回】一般曹候補生(男女)募集

◆応募期間 令和6年3月1日(金)～5月7日(火)

◆応募資格 日本国籍を有し、採用予定月の1日現在、18歳以上33歳未満の者

◆試験期日 (1次)令和6年5月17日(金)～26日(日)のうち1日

◆試験会場 (1次)松江地方合同庁舎及び浜田市内

◆試験種目 (1次)筆記試験及び適性検査(ウェブ試験方式)

◆お問い合わせ

自衛隊島根地方協力本部  
(松江市内島町134番10号)  
☎0852-2110015

社会福祉法人島根いのちの電話

第43期相談員養成講座募集

「いのちの電話」は、自死予防を主な目的とした悩み事電話相談です。この活動を支えるのは、仕事や家庭を持ちながら研修を受けたボランティアの電話相談員です。

【第1課程】(公開講座全15回)

自己を見つめ他者を理解する人間関係の基礎を中心に学習します。

◆募集人数 25名程度(会場参加者)

◆応募資格 どなたでもご参加いただけます。

◆受講費用 受講料…10,000円

※全講座受講しない場合は、相談下さい。

◆受講期間 令和6年4月～6月

◆会場

いきいきプラザ島根

◆申し込み

ホームページ(<https://www.shimane-inochi.jp/>)又はQRコードからお申し込みいただけます。

◆申込締切 令和6年3月20日(水)

【第2課程(相談員養成講座)】

グループワークやロールプレイなど電話相談に必要な理論と演習を行います。

◆応募資格 20歳～75歳くらい

◆受講費用 受講料…10,000円

◆受講期間 令和6年7月～令和7年3月

◆会場 いきいきプラザ島根

◆お問い合わせ・申し込み

島根いのちの電話事務局  
☎0852-13215985



2月の行事予定

口座振替のお知らせ

税金・使用料など公共料金の1月分の口座振替は1月31日(水)です。

今回の振替は次の通りです。

- 町県民税(4期)
  - 国民健康保険税(7期)
  - 後期高齢者医療保険料
  - 情報通信使用料
  - 水道使用料
  - 下水道使用料
  - 住宅使用料
  - 住宅駐車場使用料
  - 住宅共益費
  - 老人ホーム入所費用等徴収金
  - 介護サービス利用料
  - 介護老人保健施設利用料
- \*納税通知書等で金額をご確認いただき、今一度通帳残高をお確かめいただきますようお願いいたします。

下水道使用料金(公共・農業合併)について

◎使用人数の変更(転入・転出・出生・死亡)があった場合は、速やかに役場水道課へ届出をして下さい。使用人数によって使用料金が変わります。

★★乳児健診★★ (問)健康福祉課54-2781

7・8か月児健診	22日(木)	令和5年6月・7月生	13:30～13:45	奥出雲健康センター
10・11か月児健診		令和5年3月・4月生	13:00～13:15	
1歳6か月児健診	8日(木)	令和4年6月・7月生	13:00～13:15	

★★健康に関する相談★★

こころの健康相談日	5日(月)	14:00～15:00 (予約制)	役場仁多庁舎	(問)健康福祉課 54-2781
歯と口の健康相談室 健康・栄養相談日	15日(木)	10:00～12:00 (予約制)		
もの忘れ相談会	20日(火)	9:00～16:00	奥出雲町地域 包括支援センター	(問)奥出雲町地域包括支援センター 54-2512
こころの健康&もの忘れ相談	7日(水)	13:00～15:00 (予約制)	雲南保健所	(問)雲南保健所 42-9642
アルコールによる困りごと相談	19日(月)	13:00～15:00 (予約制)		
思春期・青年期こころの相談 ～精神科医による～	22日(木)	13:00～15:00 (予約制)		

★★結婚・子育てに関する相談★★

結婚・子育て コンシェルジュ相談所	18日(日)	10:00～15:00	カルプラ仁多	(問)町民課 54-2510
	27日(火)		横田コミセン	
結婚相談所「はぴこ」	11日(日)	10:00～15:00	カルプラ仁多	(問)奥出雲はぴこ会 090-2860-2082(渡部)
	14日(水)			



★★その他の相談★★

出張年金相談	2日(金)	10:00～15:30 (予約制)	役場仁多庁舎	(予約先) 松江年金事務所 0852-23-9540
	16日(金)		役場横田庁舎	

★★確定申告関連の相談★★ (問)税務課52-2671

農業所得の事前相談	1日(木)～2日(金)	9:00～16:30	役場横田庁舎
インボイス制度個別相談会	8日(木)	9:30～16:00	役場仁多庁舎
	9日(金)		役場横田庁舎
所得税確定申告及び 町県民税申告相談	2月16日(金)～3月4日(月)		役場仁多庁舎

★★イベント★★

合同企業説明会	3日(土)	13:30～15:30	役場仁多庁舎	(問)定住産業課 54-2524
町体協レク部 軽スポーツ体験会 (ポッチャ、モルック)	25日(日)	13:00～	奥出雲町民体育館	(問)奥出雲町体育協会 52-2672



- 今月のピックアップ -

『人生百年時代の歩き方』

私たちは、誰もが百歳以上生きるかもしれない時代を生活している。そうであるならば、人生を二回生きるイメージを大切に、それぞれ新しい生き方に切り替えてみてはどうだろうか。90歳になった作家が、いま一番に伝えたいこととは何か。

“生き方の先輩”五木寛之が、長年出演を続ける「ラジオ深夜便」の語りを再現して贈る、後半生を快活に過ごす極上の道案内。  
(出版社紹介より記載)

カルチャープラザ仁多図書館

「かたばみ」

木内昇 著

「アンと幸福」

坂木司 著

「自分で地域で手づくり防災術」

農山漁村文化協会 編

「地図は意外とウソつき」

遠藤宏之 著

「ぬまの100かいだてのいえ」

いわいとしお 作

「ゆかしたのワニ」

ねじめ正一 文

「せいめいのれきし」

バージニア リーバートン 文絵

2月の休室日

月曜日、祝日、  
月末休室(29日)

横田「ミセン」ティンセンター図書室

「椿ノ恋文」

小川糸 著

「台北アセット」

今野敏 著

「今日、誰のために生きる？」

ひすいこたろう 著

「きみのお金は誰のため」

田内学 著

「はな」

神永暁 監修

「おにぎりつくろう！」

よこみちけいこ 脚本

「はじめまして」

新沢としひこ 作

2月の休室日

日曜日、祝日



【お詫びと訂正】

広報12月号の記事で誤りがありましたので、訂正し、お詫び申し上げます。また、関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけし深くお詫び申し上げます。

・3ページ

「本町を取り巻くホッケーの課題と目標は何でしょうか？」3行目

【削除】女子は卒つては、社会人チームすらありません。